

施政方針から

「ひとの暮らしを支え、 未来の担い手を育む」

改選後初の一般質問

かまた 城行 通信

【発行】
鎌田城行事務所
〒980-0004青葉区
宮町4丁目8-15
電話Fax 222-0895
公明党仙台市議団
電話 214-8718
Fax 711-3454



「雑草」と呼ばれたら、い

未来を担う子どもたちへの 市長の励まし

【質問】鎌田城行
私からは、市長が今年度建てた施政方針の柱から「ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む」に関連して、伺います。

朝の連続テレビ小説「らんまん」が佳境を超えました。「世の中に「雑草」という草は無い。どんな草にだって、ちゃんと名前がついている」作家・山本周五郎が若き頃、駆け出しの雑誌記者として取材先の牧野博士を前に「雑草」と口にしてしまい、博士に説教された、との文献が残っていたようです。「私は雑木林と

の多くの人が「雑草」だの「雑木林」だのと無神経な呼び方をする。もし君が、「雑兵」と呼ばれたら、い

が「雑草」だの「雑木林」だの「雑兵」と呼ばれたら、い

が「雑草」だの「雑木林」だの「雑兵」と呼ばれたら、い

の多くの人が「雑草」だの「雑木林」だの「雑兵」と呼ばれたら、い

の多くの人が「雑草」だの「雑木林」だの「雑兵」と呼ばれたら、い

の多くの人が「雑草」だの「雑木林」だの「雑兵」と呼ばれたら、い

の多くの人が「雑草」だの「雑木林」だの「雑兵」と呼ばれたら、い

- ・未来を担う子どもたちへの市長の励まし
- ・市民に伝わる市長のリーダーシップとシテイセールス
- ・市民の暮らしを守るための物価高騰対策
- ・障がいを持つ方や高齢者の生活移動支援
- ・アーチルにおける通所利用受給者証発行事務等の改善

2023年9月25日 仙台市議団 鎌田城行事務所



ASIA

5520189

馬場田藤

みにしてくれました。賛辞の楯、議長特別表彰に相応しい偉業であったと思います。

先月末には、クラーク記念国際高等学校仙台キャンパス女子野球部が2年生以下チームによる「第14回全国高校女子硬式野球ユース大会」で東北初の優勝を果たされました。2019年7月に市長のもとに春の選抜準優勝を報告されたことが懐かしく思われます。

未来を担う子どもたちは、まさしく郷土の宝です。幾重にも愛でて励ましてほしい。一喜一憂しがちですが、とくに、不振のとき、逆境の渦中に立たされた時の励ましは、どれほど強い支えとなることか。鳳雛への励ましを今後どれだけ市長に送っていただけるものか、期待しますが、所見を伺います。

■答弁 郡和子市長

スポーツや文化芸術に限らず、様々な分野で日々努力を重ね、困難を乗り越えて成長し活躍する子どもたちや若い世代のひたむきな姿に大きなエネルギーをいただけてきました。目標に向かって力を尽くし、成長していく過程こそが尊いものです。

子どもたちや若者たちの挑戦を後押しする環境を社会全体でつくりあげていくことが重要との認識のもと、教育環境の整備や、子ども・子育て支援の充実、また若者の支援体制の強化などに取り組んできました。今後とも、子どもや若



者を応援する環境づくりに向けた取り組みを推進し、自らの成長に向けて精一杯の努力をしている子どもたちや若者を支え、応援する気持ちを、様々な場面を通じてお伝えしてまいります。

【再質問 鎌田城行】

順調であつても不調であつても、その目の前で頑張つてるお子様、できるだけ多くの市民に直接励ましの声を送っていたきたいという思いで質問をさせていただきました。

育英学園等に象徴される方は、その機会がしっかりとありますから、そこで声をかけていただいたこととは思いますが、市内には各校、様々な活躍をされている方、なかなか芽吹かないけれども頑張っている方。そういう方と直接出会い、そして声をかける。「郡市長に声をかけられた」「あ



の励ましがあつたから今の私はある」と、何年か先に言っていただけ、そういう市民が、直接感じた市民が増えていけば、未来を担う子どもた

市民に伝わる
市長のリーダー
シップとシ
ティセー
ルズ

【質問 鎌田城行】

パートナシップ制度なども、ようやく動きだしたようです。差別のな

ちが伸び伸びと成長していくのではないかと。そういう思いで、先般の質疑の中にありました、「様々な機会を捉えてトークをしている」という市長のお声もありましたので、そのあたり、子どもに対しての姿勢と

子どもにたいしての姿勢と持たせてほしいという思いをいただきましたので、改めてご答弁いただきたいと思

■再答弁 郡市長

このまちで生まれ育つ

い社会、はじめのない社会、誰もが安心して暮らしやすい仙台市、思いやりのある仙台市でありたいと切に願います。

日経ビジネスパブリケーション総合研究所が運営するウェブサイトで「新・公民連携最前線」で「シティブランド・ランキング」住みよい街202

子どもたちがのびのびと、そしてまた自分の思うように目標に向かって成長していくこと、これは私自身もとても望ましいものだと思つていますが、社会全体がそのように思っているものと思つてます。そうした挑戦を後押しする環境をつくっていくとともに、私自身も様々な機会を捉えて、一杯努力している子どもたち、若者たちを応援する気持ち、これを伝えていく機会をつくつていきたいと思つています。

3」が先日公表されておりました。仙台市の順位が気になりましたが、第15位でした。

これは、都道府県庁所在地中のランキングで、1位は福岡、2位は札幌、3位は沖縄、東北エリアの最高位は7位に盛岡でした。

(次ページに続く)

(前ページから続き)

また、自治体トップ50では、1位が東京都武蔵野市、2位東京都千代田区、3位東京都中央区、特筆すべきは、7位に名取市がはいっていたことです。

安全・安心、快適な暮らし、生活の利便性、生活インフラ、医療・介護、子育て、自治体の運営、街の活力、の8分野、39項目について、全国の20代以上のビジネスパーソン2万1941人が実際に住んでいる自治体の「住みよさ」を評価したものです。

井の中の蛙大海を知らず、とは言わずとも、以前「ライバル」と目された福岡市でしたが、後ろ髪にも届かぬようで、誠に残念です。

一方、市民の方から寄せられる歯に衣着せぬ声は箴言であり、襟を正したいと思います。甲子園

の余韻冷めやらぬときに、市民の方から問われたのが、「市長の甲子園決勝観戦は公務ですか?」。市長が直接応援に行かれることにどれほどの意義があるのか、成果を披歴してほしい、とも。所見を伺います。

■答弁 郡市長

この夏、本県代表の仙台育英学園高等学校硬式野球部の皆さんは、全国の強豪校とのたび重なる激戦を制して2年連続で決勝戦に進みました。ひたむきに戦う選手に市民お一人おひとりの声援を届けるべく、私もスタンダードから熱い応援を送らせていただきました。選手たちが最後まで全力を尽くし、試合後も相手に拍手を送る姿を目の当たりにし、目頭を熱くしました。

このように、すばらしい人間へと成長をされている選手たち、指導いた

だいている監督はじめ関係者の皆様方は仙台市民の誇りであると思います、賛辞の楯を贈呈しました。



市民の暮らしを守る物価高騰対策は待ったなし

【質問 鎌田城行】

今後を見据えて、今、準備されている対策について伺います。

■答弁 財政局長

本市では、今般の急激



私としても、今回、仙台育英学園高校の皆様からいただいた勇気を胸に、様々な困難の中にあ

な物価高騰への対応として、国の財政措置を最大限活用しながら、低所得者世帯等への給付金や食料費、燃料費支援など、各般の施策を実施してきているところです。

一方、今議会でも議論いただいているように、今般のエネルギー価格等の高騰を受け、電気・ガス料金やガソリン代、食料費など様々な価格が高騰して、市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしており、厳しい状況にあると認識しています。こうした状況を踏まえて、現在国が検討を進めている経済対策の動向や、本市の物価高騰対策の状況の把握に努めて、今後、本市として実施すべき施策について検討し

っても、都市の発展に向けてリーダーシップを發揮し、市政に邁進していく所存です。

てまいります。

【再質問 鎌田城行】

当然、裏付けとなるものが見えないから、具体的などころにはまだ踏み入っていないと答弁されましたが、待ったなしだということであれば、もうすでに国からどういうアクションが起きるか。そのことを、あらかじめ予想できる限りのことをしっかりと考えながら、準備が図られていないと即応できないのではないですか、ということでは質問させていただいております。

状況把握というのは当然で、その先にあるものについて、答えていただくかかった。再度答弁いただきたいと思えます。

(次ページに続く)

■再答弁 財政局長

物価高騰対策については、速やかに対策を講じていくということが必要というご指摘は、ご指摘のとおりだろうと思いません。現在、これまでの本市における取組の状況、対策の執行状況など関係部局と連携をして、その実施状況について把握に努めているところです。

加えて、現在国で検討

されているということとで、現時点で予断を持って申し上げることは差し控えたいと思いますが、経済対策の柱立てについては、本日午後にも示されるという報道もなされています。

こうしたことから、今後10月中の策定に向けて、国の方でも検討が順

障がいを持つ方や高齢者の生活移動支援

障がいを持つ方の社会参加を支えるふれあい乗車証などの支援制度の経緯と変遷

【質問 鎌田城行】

障がいを持つ方の社会参加を支える本市の施策として、市営バス、地下鉄、宮城交通バスを無料

次進んでいくと思いません。そういった検討の内容を、タイムリーに随時、把握をし、注視に努めるというののもちろんのことながら、本市におけるこれまでの対策の実施状況も関係部局と連携して把握に努め、速やかな対策が打てるよう準備を進め、対策に備えてまいりたいと考えています。

で利用できる「ふれあい乗車証」があります。身体障害者手帳1級、および2級の視覚・聴覚・下肢・体幹・移動・内部障がいを持つ方や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持つ方などが対象となっています。一方、公共交通を利用できない方



仙台市福祉タクシー利用券(市ホームページから)

「券」、同じく年間助成額3万円の「自家用車燃料費助成券」があります。ふれあい乗車証、福祉タクシー利用券、自家用車燃料費助成券の3つは、いずれか1つを選択してご利用できるのです。

これまでふれあい乗車証を利用されてきた市民のご家族からお声をいただきました。高齢になつて、バスの乗り降りが一人ではできなくなつてきたために、これからはタクシーを利用してもらおうようにしたいと思うのですが、年間3万円では今の時代、ほんの少ししか動けなくなりますね。と。

本市の同事業のこれまでの経緯と変遷について、とくにタクシー券、燃料代が3万円となつた背景など伺います。

■答弁 健康福祉局長

障害者交通費助成は、障害者の社会参加を促進

し、福祉の増進を図ることを目的として、平成元年度よりふれあい乗車証と福祉タクシー利用券を、平成12年度より自家用車燃料費助成券を、それぞれ開始したものです。このうち、福祉タクシー利用券については、当初は初乗り運賃相当の利用券を48枚交付し、平成4年度に72枚、年間3万6720円相当へと拡大しました。

また、自家用車燃料費助成については、当初は給油1回あたり10リットルの助成券を36枚交付し、平成14年度から1枚千円、年間3万6000円相当に変更しました。

その後、厳しい財政状況の中、持続可能な制度として維持するため、利用券・助成券について、平成15年度に現在の金額である年間3万円に変更したものです。

(次号に続く)